



MF 26 SEKINE Takahiro



DF 12 HAMADA Mizuki



MF 16 AOKI Takuya



GK 21 NISHIKAWA Shusaku



FW 20 LEE Tadanari

**EXTRA**  
SEASON 23



代表交代を発表する橋本前代表（1.15）

## 新しいレッズの歩みを 今から準備するために

——浦和レッドダイヤモンドズ 橋本 光夫 前代表に聞く

★2009年4月から5年間、浦和レッズの代表を務めた橋本光夫さんに、在任中の思い出や今回の代表退任を決意した理由などをお聞きしました。橋本さんは今後も浦和レッズのスタッフとして在籍します。

「この5年間を振り返るとどんなことが浮かんできますか。」  
08年から1年間、非常勤取締役として浦和レッズに関わってきたし、就任する前にレッズのことを知る三菱の関係者から話を聞いたりもしました。しかし今思うと、レッズに着任してから毎日が新しい発見の連続でした。  
特にファン・サポーターとの距離感というのが全く新しいものでした。私は三菱自動車で最後に、品質管理やサービス部門、営業部門におりましたから、メーカーの

中では比較的客户様に近いポジションにいたのですが、浦和レッズでのファン・サポーターとの距離感の違いに驚かされました。  
また浦和レッズのクラブは社員40数人と、比較的小さな組織ですが、事業所だけでも4か所あり、多岐にわたる業務に携わっています。その中でサッカークラブの独自性として、ファン・サポーター、あるいは地域の方々の支持なしには成り立たないという特徴があります。ホームタウンを持つ、というのも大きな特徴で、常にさいたま市、特に浦和を意識した活動を行っています。

### クラブの一体感ができてきた

みなさん、こんにちは。  
新しく浦和レッドダイヤモンドズの前代表になりました淵田敬三です。  
私が以前、非常勤取締役を務めていたころは、毎回のホームゲームはもちろん、関東のアウトゲームにも

もときどき足を運んでいました。その当時の埼玉スタジアム5万人の入場者で埋まっており、あの地鳴りのような応援、勝ったときの爆発するような

プというのは、通常の企業とは違い、利益だけを追求するものではありません。多くのみなさんに夢を伝え、地域と共に発展していくという大事

な役割があります。その役割を果たすために、まず、何より私自身が浦和レッズの理念をよく理解しなければなりません。そして、その理念に基づいて、我々は何を目指しているのか、自分たちがそれぞれやっているべきことは何なのか、原点に戻るところから入っていきたくと思っています。

代表になりまして

みなさん、こんにちは。



——浦和レッドダイヤモンドズ 代表 淵田 敬三

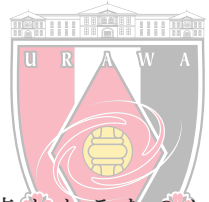
## 浦和レッズの 理念を追求することに 全力を尽くします

### ●PROFILE

淵田敬三（ふちた・けいぞう）1954年11月、神奈川県生まれ。78年4月、三菱自動車工業（株）名古屋自動車製作所総務部入社。05年4月、同社執行役員、管理本部長。09年1月、同社執行役員、MMNA(Mitsubishi Motors North America, Inc.)取締役副社長。11年4月、関東三菱自動車販売（株）代表取締役社長。05年4月～08年12月、浦和レッズ非常勤取締役。14年2月1日、浦和レッドダイヤモンドズ株式会社代表取締役就任。

歓声は忘れられませんが、今シーズンから、その浦和レッズの代表としてクラブの経営に当たっていきくとになり、非常に大きな楽しみと、同時に身が引き締まるような思いを抱いています。サッカークラ

浦和レッズの発展のため、全力を尽くします。みなさんのご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



レズの代表に就任してから積み上げてきたことは何でしょうか。

就任した当初は、経営状態も厳しく、業務の見直しを行い、経費の削減に取り組む必要がありました。だが一番意識してきたことは「クラブチームの一体感」を作ることでです。12年がレズ創立20周年ということもあり、それを機に原点に戻って浦和レズが目指すものは何かということクラブで議論しました。その中で「REDS (020h)」をキーワードにして、クラブが一つになることができたと思います。

具体的な事柄としては、3年がかりで準備して、ジュニアのチームを持つことができたこと。20周年を機に、会社名を三菱自動車フットボールクラブから浦和レッドダイヤモンズに変更したこと。駒場スタジアムのリニューアルにあたり、ネーミングライツを取得したことなどが思い出されます。

チームの強化に関しては、11シーズン終了後にそれまでの選手編成を再整理し、戦力的に不足しているのではないかと感じたので、12年からは必要な選手を積極的に獲得していこうということクラブとして打ち出しています。

開場待ちのサポーターのところに毎回行って、対話を続けて来られました。

就任して感じたことはサポーターのみなさんが主体だ、ということとです。みなさんとのコミュニケーションを取って、いろいろな意見や提案、叱咤激励を聞くのが

レズの財産になると思います、試合日にみなさんのところに行くことをずっと続けてきました。そこで伺ったお話は、試合の運営に関することやグッズの希望、クラブからの情報発信の方法など、ずいぶん参考になりました。

### クラブ経営の継続性のために

浦和レズの代表は交代がやや頻繁で、経営の継続性が難しくなるのではないですか。

今回の交代に関しては、今後のレズにとって望ましいやり方というのを三菱自動車に伝えて、実現できた部分がいふんあります。まず、15年からの新3か年計画は、実際にそれを遂行する人が策定するべきだということです。今年度私が計画を作った場合、来年になって引き継いだ人は非常にやりにくいでしょう。それを回避したいというのが、今年になった理由です。

もう一つはタイミングの問題で、私が09年4月に就任したときにはフィンケ新監督の下で、すでにシーズンが始まっていました。私は最初に、今後もフィンケ監督を支えてやっていく、と表明しましたが、クラブやチームの中にもいくらかでも動揺はあったらと思うています。ですから交代のタイミングはシーズンが始まる年初に、ということ三菱自動車に強くお願いしてきました。

また、私が就任したときには前任の代表と取締役が同日付で退任され、誰も残っていませんでした。

そこも避けたいという思いがありましたから、業務の引き継ぎと後任の方のサポートのために自分をレズに残して欲しいというお願いをしました。

そして後任の方については、できるだけレズに関わって来られた方が望ましいということも伝えました。淵田さんが社長を務めておられた関東三菱自動車販売にとっては、3月の決算前という重要な時期に社長が替わることになってしまいうのですが、淵田さんは三菱自動車の中で最もレズに関わりが強い方なのです。ですから今回の代表交代は、浦和レズというのはそういうことに最大限配慮しなくてはならないクラブなんだということ三菱自動車が理解してくれた結果だと思えます。

### 今後もレズの一員として

レズの長期的な課題、短期的な課題はどのように考えていますか。

チームとしては、アジアのチャンピオンになることを目指さなくてはいいけませんし、そのために戦力補強は継続してやっていかななくてはなりません。今季は、ミシャ監督の3年目でもありますし、タイトルを獲得するというのを、コーチングスタッフ全員で年頭に確認しました。2年で積み上げてきた実績を基に考えてもタイトルを目指すのは当然だと思えます。

クラブとして14年に重点的に取り組む必要があるテーマは2つで、入場者増とセキュリティです。

13年度の入場者数は前年を越えましたが、まだ目標には達していません。みなさんが誇りにしていただけるような満員のスタジアムを目指して、短期・長期の両面から取り組んでいきます。

また昨年、清水戦での事件もあり、セキュリティの問題は待ったなしで、全力で取り組まなければなりません。「SPORTS FOR PEACE」を前面に押し出して具体的な施策を展開していきますので、ご理解とご協力・ご参画をお願いします。

ファン・サポーターへメッセージを。

私は、チームに関しては現場をサポーターするということに徹してきました。その中で、ファン・サポーターのみなさんや地域の方々とお話をし、その思いを現場に伝えることで、私自身学んできました。

私自身が力不足であったことをお詫びすると共にみなさんのサポートに、本当に感謝しています。タイトルを獲得することができずに残念でしたが、これからも浦和レズの一員として、みなさんとコミュニケーションを取ってレズを支える力になればと思っておりますので、いつそうのご指導をお願いします。

最後に、新しい役員の下で運営されるこれからの浦和レズに対してもご声援・ご支援をよろしく願っています。

—2014シーズンの選手補強の考えと結果について、どうお考えですか。

2013シーズンの戦いぶりをふまえ、現場と検討を重ねて、加入した3選手をターゲットに進めてきました。ポジションごとの選手層の厚さ、在籍選手の年齢など総合的に考え、獲得を目指した選手たちを獲得することができました。補強とは、いま在籍している選手と同等かそれ以上のレベルの選手を獲得することです。移籍による補強の

—外国籍選手枠が空いています。

今のクラブの収支から見て、大きな強化費を投じることができません。そういう点で費用がかかる外国籍選手の獲得については慎重に考えています。もちろん経営状態が改善して、今より強化費を投じることができれば、外国籍選手を獲得できるかもしれませんので、当然調査はしています。



チームは一次キャンプを終え、二次キャンプに向かう



## チームは 安定した継続性を 持つて成長している

意識を怠ると、チームは進化させられないと思っています。

勝負は細部に宿ります。選手層の厚さはものすごく大事です。誰かが出場停止やケガが出ていないと勝てないとか、先発選手が交代してしまうと形勢が変わってしまうのではタイトルは獲れません。ギリギリの試合で勝点3を取るには、どういふ状況でもチームのクオリティーを落とさないだけの選手層が必要ですよ。

条件によっては獲得に動くこともありえます。

それに日本人で素晴らしい選手はたくさんいます。まずは27歳前後の中堅と言われるような日本人選手でチームの背骨を作っています。そして、それより若い年代で次の背骨を作らなければいけません。現在、期限付き移籍している選手たちがその候補です。

—全体的に、若手が減っているように思いますが。

目今の試合に勝ち、そしてタイトルを狙いながら、若手を育てていくという、両方を同時に進めていくことは非常に難しいことです。そのため今回は思い切って大谷（北九州）、野崎（福岡）、小島（徳島）の3選手については、他のクラブで経験を積ませることにしました。岡本（長崎）の期限付き移籍延長も同じです。

若手がレッズで活躍するには、いま試合に出ている選手との競争に勝たなくてはなりません。先ほど、期限付き移籍している選手も含めて将来の主力候補だと言いましたが、彼ら自身がそういう力を付けなければならぬのです。ですから彼らのことは常に観察していきます。その上で、在籍している選手と比較してどうか、という判断をしなくてはなりません。もしレッズに戻っても難しいとなれば、出られるチームにいる方が、彼らのサッカー選手としてのベターな選択だと思います。

—監督3年目というのは、より結果が求められるます。

12年に始まったときからサッカーのクオリティーは上がってきていると思います。当然、今季はタイトルを目標にすべきシーズンです。

一方、私は過去の経験からして、一番大事なことは、一喜一憂しないことだと思っています。浦和レッズは結果を求められるクラブですが、それには

チームが安定して継続していくことが重要です。不安定な時期というのは、物事を適切に判断できません。しかし安定している時期というのは余裕を持って物事を考えることができますし、何かを実施するタイミングも正確に判断できます。最終順位で言えば、昨年は6位で一昨年より下がっています。私は一昨年よりもチームは成長できたと思っています。そういう意味で、現在のレッズは安定した継続性を持ちながら成長して3年目を迎えていると思います。

今季のミシャ監督は、失点の多さを改善することに相当意識を持っていました。彼の考えでは、攻撃のハーモニーを奏するのはかなり難しいことなのですが、それは2年間でだいぶ積み上げられました。それに加えて、今季は守備の強化に重点を置きたいと思います。練習の内容や身体のケアも含めて細かいところから改善していきます。

—これまで代表交代でチームへのマイナス影響が少なからずあったという印象があります。

浦和レッズには10年、20年チームを支えてきたスタッフが大勢います。今は、このスタッフたちが誇りを持って仕事ができるような役割と責任を与えられていますから、ここが継続されていけば、どういう体制になっても大丈夫だと思えます。選手にも、チームマネジメントは心配せずに、ピッチで躍動して結果を出して欲しい、ということを行いました。

浦和レッズは日本の中でどのリーグクラブにならないといけないかと思っています。今シーズンも、共に戦っていきましょう。

「まずレッズの『事業本部』について説明してください。」

運営部、パートナー営業部、マーケティング部、すなわち収入の三本柱を統括するところです。

レッズの経営的数値は2011年に非常に落ち込みました。ホームゲーム平均入場者が3万3千人台になったことが大きな要因ですが、それはファン・サポーターのクラブへの信認が薄れてきたことの表われでもあったと思います。



## レッズの理念と ミッションを 全員が共有していく



「ツズのイズムとは何だろう」とあらためて考え、クラブのベースになるものをあらためて確認しなくてはならない、と強く感じました。

以前のレッズは、故森孝慈さん、横山謙三さんといった、サッカー界に精通された素晴らしい方々に引張って行ってもらったところがありました。その中で各セクションのスタッフは、

自分の直接の仕事には熱心でしたが、たとえばチームが優勝するために、自分がどう関わっていくか、ということはあまり意識していませんでした。しかしサッカークラブで大事なのは、理念を全員が理解し共有することだと思っています。

08年ごろから、「浦和レッズのあるべき姿」というものをみんなで議論するようになりました。現在は「浦和レッズの活動理念」(\*欄外に掲載)の下に、「強くて魅力あるチーム」「地域の誇りとなるクラブ」「自立し責任のあるクラブ」という3つのミッションを作り、それをスタッフ全員で共有することで、ブレずに活動していくことができている。

す。私たちはチームを立て直すと同時に、クラブの3か年計画を立て、12年を「再生」、13年を「好転」、14年を「成長」の年と位置付けてきました。その結果、11年を底として、一昨年、昨年と経営が右肩上がりになってきました。

「クラブへの信認が薄れてきたことについて、どのように改善を図ってきたのですか。」

08年の最終戦終了後、サポーターから「ブレない軸を作れ」と言われたのをよく覚えています。あのときに、「レ

事業本部の各部門ではどのように生かされていますか。」

いますか。」

レッズの経営の生命線は入場料収入ですが、その中でもシーズンチケットホルダーは、レッズを支えていただいている方々です。年間料金をいただいでしまえばそれでいい、ということではなく、機会あるごとに特別なサービスを意識してきました。またシーズンチケットホルダーの方が、新しい仲間を誘ってスタジアムに来ていただけるような企画も打ち出しています。あまり大々的にPRしていませんが、シーズンチケットを20年継続していただいた方に、共に闘った20年間をまとめたオリジナルDVDを差し上げたり、1年間全試合来場された方にピンバッジを差し上げたりしています。

今後CRM(=Customer Relationship Management)——レッズではS(Supporter)RMと呼んでいます——を重視していきます。

マーケティング部門では、「サポーターをサポートする」ことをテーマに商品開発をして、好評をいただけてきました。また、たくさんの方にレッドボルテージに来ていただくというところで、試合の翌日には店内にタレント写真や選手の情報をきちんとお客さまに伝えられるようにしてきました。ただ商品をお店、ではなく、浦和レッズを感じられるお店、に変わってきたと思います。試合の翌日には、写真やスタッフとの会話を楽しみに来店する方が増えてきました。

パートナー営業部門に関しては、ただ協賛していただくのではなく、スタ

ジアムの雰囲気作りにもパートナー企業のみなさんにご協力をいただいで、たとえば昨年の夏には打ち上げ花火や、オーロラビジョンを利用したファン・サポーターへのサービスも一緒に取り組んできました。またパートナー企業同士が交流する機会も設けて、仲間づくりを意識した活動をしてきました。今季は、昨年からスタートしたレッズビジネスクラブ(RBC)をさらに充実させていきます。

「今回の代表交代により変化はありますか。」

先ほど述べたように、クラブのスタッフ一人ひとりが自分たちのビジョンやミッション、行動規範などをしっかりと持っていることが大事だと思いますが、それは以前に比べて徹底されています。淵田代表とも共有して、ブレずにやっています。

「最後にファン・サポーターへ一言お願いします。」

かつてはシーズン中にスタジアムが何度も満員になりました。あの感動は言葉では言い表せません。今季は満員のスタジアムを作りたいと思っています。それはクラブの力だけではできません。それはファン・サポーター、パートナーのみならず共に、努力していきたいと思います。そのためには安全で快適なスタジアム作りが欠かせません。「SPORTS for PEACE!」を前面に押し出して、誇りあふれるスタジアムを作り、そこでチームが魅力あるサッカーを展開します。そしてシーズンの最後には、みんなが笑顔になれるように一緒に頑張っていきたいと思います。

### ★浦和レッドダイヤモンドズの活動理念。

「1.浦和レッドダイヤモンドズは、社会の一員として青少年の健全な発育に寄与します」「2.浦和レッドダイヤモンドズは、地域社会に健全なレクリエーションの場を提供します」「3.浦和レッドダイヤモンドズは、さいたま市から世界に向けて開かれた窓となります」

## 2年間で積み上げてきた土台を基に、 みなさんと共にタイトルを目指します

ミハイロ・ペトロヴィッチ 監督

### MIHAILO PETROVIC

● PROFILE

1957年10月18日生まれ。ロズニツァ(旧ユーゴスラビア、現セルビア)出身 国籍：オーストリア

ユーゴスラビアの名門、レッドスター・ベオグラードのユースチームで育ち、同国のFKラド・ベオグラードでプロ選手としてのキャリアをスタート。93年に引退し指導者となった。96年から2年間、後に日本代表監督となるイビチャ・オシム氏が監督をするSKシュトゥルム・グラーツ(オーストリア)で、アシスタントコーチ兼アマチュアチーム監督を務めた。

2006年6月、サンフレッチェ広島島の監督に就任。5シーズン半の間に、現在の広島ของทีมスタイルを確立させ、Jリーグ連覇(2012・13シーズン)の礎を築いた。

2012年から、浦和レッドダイヤモンズの指揮を執り、リーグ3位まで躍進。昨季はナビスコ杯で準優勝、リーグでは第32節まで優勝の可能性を残したが、最終的に6位となった。愛称はミシャ。

みなさん、こんにちは。

2014シーズンもよろしくお願ひします。

私が浦和レッズに来た最初のシーズンは、チームをしつかり作っていく時期でした。そして昨シーズンは、土台ができたチームを安定させ、成長させていくことを目標にしてきました。

その結果、一昨年は3位という成績を収め、昨年は終盤まで優勝を狙える位置にいました。残念な

がら優勝という結果は出せませんでした。2年間で土台はしっかりと積み上げてきた土台を基にタイトルを狙って戦っていきます。

サッカーという競技は、これをすれば必ず結果が出る、というものではありません。しかし私たちは結果を出すための準備ができます。

まずタイトルを獲得するためには、同じポジションに同じくらいの高いくオリティーを持った複数の選手が必要になってきます。私たちは自分たちを分析し、周りのチームをじっくり観察する中で、自分たちが必要と思われるポジションの選手を獲得することができました。長いシーズンを戦っていく上で、チームの中の競争も必要です。

またタイトルを獲得にあたっては、強いメンタルというものが重要です。浦和レッズには、相手の選手が高いモチベーションを持って臨んで来ますから、それに打ち勝つ特に強いメンタリティーを持った選手が必要です。そのメンタル的な部分でも昨年は良い経験になったのではないかと思います。

選手たちには、もう過去の苦い経験から学んでいく時期は過ぎた。3年目の今年は、そういう経験をしっかりと生かしていかなければならない、ということをお話しています。

始動日から先日の宮崎キャンプまで、選手たちは非常にモチベーション高く、規律と集中力を持って臨んでいます。これだけ高いモチベーションを持って練習に取り組んでいないかと思えるほどです。オフの間、良い準備をしてきたのでしょうか。

実は、昨季が終わって私が分析したところ、チームに少し足りなかったのは、集中力や規律の部分ではないかと思っていたのですが、宮崎キャンプではそれを非常によく守りながら、良い練習ができました。

昨季、浦和レッズは最も得点が多かったチームでした。今季は、その攻撃的な部分に、さらにアクセントを付けて精度を高めていきます。さらにもう一つ、我々のウイークポイントであった失点の多さを改善していきます。そして規律とアグレッシブさを昨年より加えていきます。

今季も見る人を魅了するサッカーを目指し、その上で勝利を重ねていきたいと思ひます。

他では見られない熱さを持った、レッズサポーターのみなさんと共に戦い続け、タイトルを獲得する喜びを分かち合いたいと思ひます。

今シーズンも共に戦いましょう。◆

## タイトルのために全力で

① GK 山岸範宏

★中京大から加入して14年目。リーグ戦通算137試合出場。  
昨季はシーズン途中からゴールを守り、リーグ戦9試合出場、ナビスコ杯3試合出場、天皇杯1試合出場。

◆今季は、チームがタイトルを獲るために自分ができることを全力でやります。

去年は最後の最後に獲り逃してしまっただけで、今年は絶対に獲らないといけないと思います。それに向けて、個人としてもチームとしても良い準備をします。

個人の目標という意味では、数字ということではなく、トータルとして素晴らしいシーズンにできるように頑張ります。

新しく入った西川君のことはリスペクトしますが、これまでも毎年毎年が競争ですし、自分が今まで築き上げてきた姿勢というものもあります。

自分には自分のことしかできませんから精いっぱいやるだけです。



## 今年も良い雰囲気です

② DF 坪井慶介

★福岡大から加入して13年目。リーグ戦通算209試合出場1得点。  
昨季は右DFとして、リーグ戦7試合出場、ACL2試合出場、ナビスコ杯1試合出場、天皇杯2試合出場。

◆ミシヤが監督になってから、ここ数年、ピッチの中だけではなく、クラブハウスの中や、ふだんから非常に良い雰囲気があります。今年もそれは変わりません。

今季は「優勝」ということを選手が口にするのが少なくなるかもしれないませんが、個人的にはそれがノーマルだと思っています。口にするのが悪いということではなく、言っとしる言わないにしろ、みんなが目指しているもの、意思統一はできています。

宮崎キャンプは、昨年、一昨年より少しきつく、充実したものにしました。自分自身は、限界を設けずにやるところと、しっかりコントロールしてやるところができたと思います。



## 得点に直結するプレーを

③ MF 宇賀神友弥

★流通経済大から加入して5年目。リーグ戦通算95試合出場5得点。昨季は主に左ウイングバックとして、リーグ戦31試合出場1得点、ACL5試合出場、ナビスコ杯5試合出場。

◆チームの雰囲気はすごく良いと思います。

自分たちが昨シーズン優勝できなかった理由として、厳しさが足りない部分があったというののが分かっていますから、一人ひとりが自覚を持って声を掛け合うことができています。

自分の目標としては、今年も1年間を通して試合に出続けるところです。また昨年はゴールが少なかったので、点を取ることに、ゴールに直結するプレーを増やしていきたいです。

今年も1年間一緒に戦うために自分たちは今良い準備をしていますから、ファン・サポーターのみなさんも、楽しみにしていただければと思います。



## 毎日充実してやれている

④ DF 那須大亮

★柏レイソルから移籍加入2年目。リーグ戦通算306試合出場23得点。

昨季は主にリベロとして、リーグ戦32試合出場9得点（自己最多）、ACL5試合出場2得点、ナビスコ杯5試合出場。

◆昨年の今頃は、すべてを周りに聞きながらやってきましたが、今年は自分でわかるので、気持ち的にも身体的にも余裕を持ってできています。宮崎キャンプもそうですが、毎日非常に充実してやれています。

失点を防ぐことは意識していています。練習試合でもこだわってやっています。まず実戦でゼロに抑えられたのは良かったです。二次キャンプでの練習試合でも、内容もそうですが結果にしっかりこだわっていききたいと思っています。



## 個人個人が変化を

⑤ DF 横野智章

★1FCケルン（ドイツ）から移籍加入3年目。リーグ戦通算153試合出場25得点。

昨季は左DFとして、リーグ戦34試合出場6得点、ACL6試合出場、ナビスコ杯4試合出場、天皇杯1試合出場。

◆シーズンオフに自主トレもしてきましたが、今季に向けての意識という意味では、宮崎キャンプは今までと違っているものがありました。

タイトルや優勝はみんなが目標に掲げていることですが、昨年やってきたことで結果が出なかった、個人個人が変化をもたらさなくてはいいけません。それが自ずと良いプレーや良い結果につながるのではないかと思います。

去年よりもすべてにおいて上回りたいですし、目標はもちろん優勝です。



## 6番を背負ってピッチに

MF 山田直輝

★レッズユースから昇格6年目（レッズデビューから7年目）でリーグ戦通算48試合出場2得点。昨季はケガから復帰した年でも、シャドーとして、リーグ戦4試合出場、天皇杯1試合出場にとどまった。

◆今季から背番号6を付ける。

◆自分でもこの背番号を背負っているということ、やらなくてはならないという気持ちを持ってやっています。ピッチに立たないと意味がないので、この背番号をつけてピッチに立つことが第一だと思っています。

今季は、1年間を通してチームに貢献していきたいです。

タイトルが絶対に必要な年だと思うので、変わらず熱い応援をお願いします。



## 去年の借りを絶対に返す

MF 梅崎 司

★大分トリニータから移籍加入7年目。リーグ戦通算154試合出場17得点。

◆昨季は左右のウイングバック、あるいはシャドーとして、リーグ戦22試合出場2得点、ACL4試合出場1得点、ナビスコ杯4試合出場1得点、天皇杯2試合出場。

◆今季はスタメンを取れるように、どんどんアピールしていきたいです、自分らしさを出していきたいです。

◆去年は悔しい思いしかしていませんので、まずは自分というものを前面に出したいですね。今年はいトルを獲らなくてはいけないので、そこに貢献できるようにということ。自分らしさがそこにつながると思います。

◆今年も、去年の借りを絶対に返します。楽しみにしていてください。



## 優勝以外は考えられない

MF 柏木陽介

★サンフレッチェ広島から移籍加入5年目。リーグ戦通算210試合出場37得点。

◆昨季は主にシャドー、時にボランチとして、リーグ戦34試合出場8得点、ACL6試合出場1得点、ナビスコ杯5試合出場。

◆今季は、優勝する以外はもう考えられません。それに対して自分がやらなくてはいけないことをしていきます。チームのために何ができるかを考えてプレーしていくだけだと思います。

◆昨年はずっと良いシーズンでしたが、最後の最後で良かったと言えなくなりました。今年もシーズンを通して良い位置につけて、最後にみんな笑って終われるように頑張りたいと思います。



## 毎日の積み重ねを大切に

FW 原口元氣

★レッズユースから昇格6年目（レッズデビューから7年目）。リーグ戦通算153試合出場29得点。

◆昨季はシャドーとして、リーグ戦33試合出場11得点（自己最多）、ACL4試合出場2得点、ナビスコ杯4試合出場。

◆今季から背番号9を付ける。

◆背番号が変わったからといって僕がやることは変わらないというので、今まで通り自分としっかり向き合って成長していきたいようにやっていくだけです。しかし、やっぱり9番を背負うので責任を持って、背番号に見合うような活躍をしなければいけないと思います。

◆もちろん優勝が一番と考えてはいますが、今から優勝、優勝と言っている、一日一日の積み重ねだと思おうので、それを大切にすることが今年の目標だと思います。チームも個人も成長していきたいかな一年にしていきたいです。



## ブラジルで左ヒザを手術

MF マルシオリシヤルデス

★アルビレックス新潟から移籍加入4年目でリーグ戦通算194試合出場55得点。

◆昨季はベンチスタートが多かったが、多くの試合に途中出場し、勝利に貢献するプレーを見せた。リーグ戦26試合出場5得点、ナビスコ杯4試合出場、天皇杯1試合出場1得点。

◆チーム始動後、左ヒザの治療に専念。ブラジルに帰国し、このほど左ヒザじん帯の手術を受けた。全治6か月の見込み。





## 指宿でどれだけできるか

10 MF 関口訓充

★ベガルタ仙台から移籍加入2年目。リーグ戦通算104試合出場6得点。

昨季は左右のウイングバックとして、リーグ戦20試合出場1得点、ナビスコ杯4試合出場、天皇杯2試合出場。

◆昨年はケガで出遅れてしまったので、シーズンの入り方としては全然違います。

戦術の部分でも、前の選手をしっかり動かしながら相手を追いついて奪う場面が、宮崎での練習試合でもけっこうありました。主導権を自分たちで取って、自分もその中で声を出しながらプレーできているので、昨年より濃い、充実した宮崎キャンプでした。

次の指宿キャンプで、磐田やソウルを相手にして、どれだけ内容の濃い試合ができて、開幕戦を迎えられるか、だと思います。楽しみです。



## 去年の経験が生きては

12 DF 濱田水輝

★09年にレップズユースから昇格し、昨季期限付き移籍していたアルビレックス新潟から今季復帰。リーグ戦通算28試合出場。

昨季は新潟でセンターバックとして、リーグ戦6試合出場、ナビスコ杯6試合出場1得点、天皇杯1試合出場。

◆一昨年に比べてサッカーがスムーズになっっているな、というのを感じています。

ミシヤのサッカーは、新潟と真逆なので、あっちに行つたときも戸惑いましたが、戻ってきてまた戸惑つたところがあります。しかし、自分は昨年までと比べて、まずフィジカルの部分や対人能力は上がっていると思いますし、1対1の球際などどんなサッカーでも重要です。レップズのサッカーは攻撃中心なので、守備では数的不利をどう耐えるかとか、カウンターへの対応とか、個人の能力が試されることもあります。そこでは昨年の経験が生きています。



## やってきた正しい結果で

13 MF 鈴木啓太

★東海大翔洋高から加入15年目。リーグ戦通算347試合出場9得点。

昨季はボランチとして、リーグ戦30試合出場、ACL4試合出場、ナビスコ杯4試合出場。

◆今季の個人の抱負というのは、ケガなくチームに貢献することだけです。個人というよりもチームとしてタイトルを勝ち取りたいという気持ちが強いです。

この2年間やってきて、進んできた道が正しいということをお自分たちでは分かっています。それをファン・サポーターの皆さんにも分かってもらうには結果を出さないとはいけません。

結果が全ての世界ですが、自分たちは結果だけを求めるプレススタイルではありません。内容を重視した上で結果を求めるスタイルなので難しさはあると思います。この2年間で十分な手こたえを得てきましたし、このメンバーで勝ち取りたいですね。



## 今季に懸ける覚悟がある

14 MF 平川忠亮

★筑波大学から加入13年目。リーグ戦通算297試合出場8得点。

昨季は主に右ウイングバックとして、リーグ戦27試合出場、ACL5試合出場、ナビスコ杯5試合出場。

◆宮崎キャンプは、いつもよりハードでしたが、監督も僕らも今季に懸ける覚悟があるので、一次キャンプでそれを目指すだけのきついことをやらなければいけないし、それが十分にできたと思います。大原での練習も、宮崎でやった部分を深めていって、二次キャンプでの練習試合で良い結果を出すことにつなげていきたいです。

失点を減らすことについてはもう意識しています。宮崎での練習試合も、それを意識してゼロに抑えられたし、そういう積み重ねだと思っています。

個人的には、自分が出た試合で勝利に貢献する。チームのために戦うということだけです。



## 浦和で結果を出したい

16 MF 青木拓矢

★大宮アルディージャから今季移籍加入。リーグ戦通算127試合出場11得点。

昨季は大宮でボランチとして、リーグ戦28試合出場4得点、ナビスコ杯6試合出場、天皇杯2試合出場。

◆みんなが優しいので、すぐに馴染んでいけそうです。大宮から浦和に来るという決断をしたので、しっかりとここで結果を出さないとはいけません。自分のできるだけ、自分のできるだけ、しっかりとやればと思います。浦和らしさ、を感じるのにはメンバーの豪華さとか、練習試合にも多くのサポーターが見学に来てくれるところですかね。

宮崎では練習中に左足関節を痛めて練習試合に出られませんでした。外から見ることができて勉強になりました。それほど重くはないので、指宿キャンプからは普通にやれるようにしたいです。



## ぜびスタジアムで試合を

DF 永田 充

★アルビレックス新潟から移籍加入4年目。リーグ戦通算253試合出場0得点。  
昨季は3月にケガで離脱し7月に復帰。リベロとして、リーグ戦9試合出場、ACL2試合出場、ナビスコ杯1試合出場、天皇杯2試合出場。  
◆昨年はケガも絡んでコンディションを落としていたので、今季は気をつけたいと思います。この時期にしっかり身体を作ることが大事で、それが今後につながっていくと思います。  
目標は、1年間を通して安定して試合に出ること、試合に出るだけでなくタイトルを獲得に行きたいと思っています。  
今年はミシヤ監督も3年目なので、僕らも結果を出したいと思っています。ぜび、スタジアムに試合を見に来ていただければうれしいです。



## 楽しんでやっていきたい

GK 加藤順大

★レッズユースから昇格12年目。リーグ戦通算85試合出場。  
昨季は開幕から9月までゴールを守り、リーグ戦25試合出場、ACL6試合出場、ナビスコ杯2試合出場、天皇杯1試合出場。  
◆今年は、昨年よりも加藤順大というプレーヤーを見ていかなければいけないと思います。  
西川選手の加入も良いモチベーションにしてやっていきたいと思っています。自分のやることは変わりませんが、一番は楽しんでやっていきたいと思っています。  
宮崎キャンプで右肩を痛めて、後半の練習試合には出ませんでした。痛めた箇所が肩なので、無理なくプレーできるまで様子を見ながらやっていきます。ひどくはありません。フィールドプレーヤーなら休まずやっていくぐらいです。



## 去年との違いを見せたい

FW 阪野豊史

★明治大学から加入2年目。  
昨季は1トップとして、リーグ戦9試合出場、ACL4試合出場、天皇杯2試合出場1得点。  
◆昨年はただがむしゃらにやっていた感じですが、今年はみんなのスタイルもわかっているの、そこは違うところを見せられると思います。  
でも昨年もキャンプでは好調だったので、開幕しても良いプレーをしていきたいです。  
自分の目標は、試合出場を増やしていくこと、リーグ戦で得点することです。チームの目標は優勝することです。  
昨年、初めてプロとしてピッチに立つて、苦しい時にサポーターのみさんの応援ですごく勇気づけられました。今年もよろしくお願ひします。



## これからが楽しみです

FW 李 忠成

★サウサンプトン(イングランド)から今季移籍加入。Jリーグ通算160試合出場46得点。  
宮崎キャンプには1月21日から合流。26日の練習試合で90分プレーした。大原での練習は29日が初めてとなる。  
◆練習試合では慎二が1トップで元氣と僕がシャドーでした。これから徐々にコンビネーションも高まっていくので楽しみです。広島出身の選手とは、お互いにプレーを良く知っていますし、広島出身の選手以外でも、元氣とか阿部ちゃんとかウメとは日本代表で一緒だったし、関口とは高校のとき国体(東京代表)でやりました。知っている選手がたくさんいるの、ピッチ内外でプラスですね。  
浦和は懐かしいイメージがあります。中学生、高校生のとき、レッズのジュニアユースやユースと練習試合をやりましたから。



## 成功する覚悟でレッズに

GK 西川周作

★サンフレッチェ広島から今季移籍加入。リーグ戦通算253試合出場。  
昨季は広島でリーグ戦33試合出場、ACL5試合出場、ナビスコ杯1試合出場、天皇杯3試合出場。チームのリーグ2連覇に貢献した。今季は1月14日の記者会見の後オフになり、21日から宮崎キャンプに合流した。  
◆練習に合流して、思った以上にピリッしていたというか、オンとオフがハッキリしているという印象でした。練習になればすごく集中力があって、勝負にこだわっていると感じました。  
今年にかける思いがミシヤにもあると思いますし、個人としてもレッズで成功できるように、その覚悟で来たので良い結果を出してサポーターの方と一緒に喜べれたいと思います。GKとしてこそぞという時に仕事をしたいです。それができれば信頼も得られると思います。



## 結果を出す」と意識して

22 MF 阿部勇樹

★07年に千葉から移籍加入し、10年途中にレスタースティー（イングランド）へ移籍。12年レズズに復帰した。リーグ戦通算401試合出場60得点。

◆昨季は、ボランチとしてリーグ戦33試合出場6得点、ACL6試合出場1得点、ナビスコ杯5試合出場。

◆今季は結果が大事です。惜しいと言われるだけで、結果を残さなければ、チームの名前もその時のメンバーの名前も残りません。結果を意識して、その結果を出すためにどうしたらいいのか、そこを意識して練習からやっていると、試合でも良い結果が出せると思います。

◆今年ワールドカップの時に中断期間があつて休むことができませんから、スタートダッシュをして、その期間にチームが勢いに乗れるようにしたいです。



## 1日も早く試合に出たい

26 MF 関根貴大

★レズズユースから今季昇格。ウイングバックまたはシャドーでの活躍が期待される。

◆昨年、小樽でのキャンプにも参加しましたが、プロになって練習するのは全然違います。

◆ずっとレズズのサッカーを見てきて、だいがわかったつもりでしたが、実際にやってみると、パスが少しズレたり、味方とのタイミングが合わなかったりと、難しいです。これからもっとコミュニケーションを取ってやっていきます。

◆試合でも多くメンバーに入つて1日でも早く公式戦にデビューしたいです。得点できれば一番良いです。試合に出てチームに貢献したいです。



## 代表で自信が付いた

23 MF 矢島慎也

★レズズユースから昇格3年目。リーグ戦通算12試合出場1得点。

◆昨季はシャドーとしてリーグ戦4試合出場1得点、天皇杯2試合出場。

◆16年のリオデジャネイロ五輪を目指し、U-21日本代表でも活躍。今季は、年頭からオマーンで行われた「AFC U-22選手権」にも出場し、1月25日から宮崎キャンプに合流した場。

◆代表では得点を決められたしアシストもできたのですが、チームとしてはまだまだ課題があつてもっと良くなるという感じでした。代表に行つて少し自信は付いたかなという感覚です。同世代の中で、いい形で競争し合ってきました。もっとうまくなって、レズズでもたくさん試合に出たいです。



## 去年より多くの得点を

30 FW 興梠慎三

★鹿島アントラーズから移籍加入2年目。リーグ戦通算225試合出場62得点。

◆昨季は1トップとしてリーグ戦33試合出場13得点（自己最多）、ACL5試合出場1得点、ナビスコ杯4試合出場5得点。

◆去年1年間やってきて、チーム戦術も理解し、一人ひとりが何をやらなければいけないか、各ポジションによって見つけたと思います。今年は昨年よりいい成績を残したいと思っています。

◆個人的には昨年以上に得点を取らなければいけないと思いますし、もっとチームに貢献したいと思っています。

◆ケガのない身体作りをして、1つでも多くタイトルを獲得するように頑張つていきたいです。



## 後悔のない1年に

46 DF 森脇良太

★サンフレッチェ広島から移籍加入2年目。リーグ戦通算153試合出場11得点。

◆昨季は右DFとしてリーグ戦33試合出場3得点、ACL5試合出場、ナビスコ杯4試合出場。

◆今季は最高の1年にしたいと思っています。個人としてもチームとしても勝負の懸かった年です。

◆プレッシャーを掛け過ぎるのも良くありませんが、このチームはプレッシャーを背負つて戦つてチームです。求められるものは1つだけだと思います。

◆まずはしっかりと試合に出て戦いたいと思っていますし、昨年1年間を振り返った時にまだまだやらなくてはいけないと思つたので、後悔のない1年にしたいと思っています。

◆非常に身体が仕上がつてきているので、シーズンの開幕を楽しみにしてもらいたいです。



## 小中学生の シーズンチケットホルダー対象 『フラッグキッズ』募集!

\* 2014 シーズンより、シーズンチケットをご利用いただいている小中学生を対象に、抽選で各試合4人を「フラッグキッズ」として事前募集します。フラッグキッズは試合直前に「SPORTS FOR PEACE!」フラッグを持って選手を先導し、ピッチに入場します。

応募時期・方法など詳細は、2月中旬にオフィシャルウェブサイトでお知らせします。

## 2014シーズンチケット 新規購入は2月6日(木)まで受付!

\* 浦和レッズの2014シーズン ホームゲーム20試合を観戦できる「シーズンチケット」の新規購入を現在受付中です。1試合あたりの料金は、通常料金より最大10%お得で、新たな特典の「フラッグキッズ」や、「選手からメッセージが届く」など、浦和レッズならではの特典が盛りだくさんです。

WEB/郵送/店舗(レッドボルテージ・チケットぴあ限定7店舗)でお申込みいただけますので、ぜひこの機会にお買い求めいただき、1シーズンを通じて、スタジアムでの熱いご声援をお願いいたします!

▽シーズンチケットお申込はこちら(PC)  
<http://pia.jp/v/reds-ss14n/>

## 2014シーズン前半戦チケット 販売スケジュール

\* 浦和レッズでは、3月~4月に開催されるJ1リーグ戦とヤマザキナビスコカップ予選リーグのチケット販売を、下記のスケジュールで行います。

### <ホームタウン優先販売(抽選)>

▽受付期間 2月1日(土) 昼12時~  
2月5日(水) 23時59分

- 埼玉県在住者限定のお申し込みとなります。
- オフィシャルチケットサイト「レッズチケット」でのお申し込みとなります。

### <セブン-イレブン先行販売(先着順)>

▽受付期間 2月13日(木) 10時~  
2月17日(月) 23時30分

- 期間内セブン-イレブン店内設置の「マルチコピー機」で直接お買い求め

いただけます。

### <セットチケット販売(先着順)>

▽受付期間 2月16日(日) 10時~  
3月1日(土)

- チケットぴあ限定21店舗で、3試合を1セットにしてお得に購入いただけます。

### <レッズチケット先行販売(先着順)>

▽受付期間 2月19日(水) 10時~

- 一般販売に先駆けてオフィシャルチケットサイト「レッズチケット」での販売となります。

### <団体販売>

▽受付期間 2月15日(土) 10時~  
各試合10日前まで  
(開幕戦のみ、3月1日(土)まで受付)

- 職場、学校、サッカーチームの仲間など、13名以上の皆様で楽しくご観戦ください。FAXでお申込みいただけます。

### <一般販売>

▽受付期間 2月23日(日) 10時~

- ネット、店頭、電話等、通常にチケットを購入するお客様向けの販売です。

## ご家族でのご観戦は楽しく お得なファミリーシートで!

\* 『ファミリーシート』は、お子様連れのご家族に楽しく快適な観戦環境と、うれしい料金設定での提供を目指しています。2014シーズンから、浦和レッズパートナー、セブン-イレブン様と共に、パパ・ママ・キッズの笑顔が溢れるような楽しい企画を実施します。楽しくリニユアールするファミリーシートをぜひご利用ください!

## チケットに関する インフォメーション

- 今シーズンより『Aホーム自由席』の名称が、『ホーム自由席』に変更となります。
- シーズンチケットホルダー様への2014シーズンチケット(特典含む)のお届けは、2月下旬の発送を予定しております。

## REDS-FULL of LIFE! 2014オフィシャルサポーターズ クラブ登録受付開始

★ 2014シーズンのオフィシャルサポーターズクラブ(OSC)の登録受付を開始しました。

今シーズンのOSCキャッチフレーズは『REDS-FULL of LIFE!』。「REDS-FULL」は、「レッズでいっぱい」「レッズで満たされている」という気持ち・状態を表した造語、「FULL of LIFE」は「いきいき、はつらつ」という意味の英語です。

浦和レッズが生活の中にあることでいきいき・はつらつ、元気でポジティブな気持ちになれるシーズンに! という思いを込めたキャッチフレーズです。

2014シーズンの特典グッズは、どのアイテムもこのキャッチフレーズをデザイン化したOSC限定品です。



▲公認サポーターズフラッグ(大応援旗=3人に1本)

\*認定カードも同じデザインです



▲認定トートバッグ



認定  
ピンバッジ

ご登録は、所定の払込用紙による金融機関からのお申込以外に、

- ①『REDS Festa 2014』
- ②浦和レッズホームゲーム
- ③レッドボルテージ

でも受付けておりますのでぜひお立ち寄りください。

なお、①②③でご登録いただきましたOSCには、追加特典として「OSC特製ステッカー2014」をプレゼント! ご登録お待ちしております。

# INFORMATION

## 伝統を継承しながらも、新たな浦和レッドダイヤモンドズを表現 2014シーズン ユニフォーム

\*伝統のクラブカラーである赤・白・黒のトリコロールのコンビネーションを継承しながらも、ファッション界でもトレンドとして用いられモダンファッションには欠かせないカモフラージュ柄を採用。これまでにない斬新なアイデアと手法により、新しい浦和レッドダイヤモンドズを表現しています。

またカモフラージュ柄の中には、クラブとサポーターを繋ぐシンボル「ハートの12」や、旧浦和市のコウモリ型の地形をモチーフにしたデザインが組み込まれています。

生地には、リサイクルペットボトルを使用したATOMファブリックを採用。通気性50%、伸縮性210%（フィット感、快適さ向上）、耐久性40%をアップさせながら、10%の軽量化を実現。プレーヤーのポディーラインにフィットしやすいように、生地自体が横にのみ伸縮し、縦には伸びない形成を施しています。



■ 1st 赤 (半袖)  
サイズ: S・M・L・XL・XXL  
10,395円

■ ジュニア  
サイズ: 130・140・150  
8,295円



■ オーセンティック  
1st 赤 (半袖)  
サイズ: S・M・L・XL・XXL  
18,900円



■ 1st 赤 (長袖)  
サイズ: S・M・L・XL・XXL  
13,545円



■ 2nd 白 (半袖)  
サイズ: S・M・L・XL・XXL  
10,395円  
\* 2月15日(土) 発売



■ GK (半袖) ブルー  
サイズ: S・M・L・XL・XXL  
10,395円  
\* 2月15日(土) 発売



\* 発売日にご注意ください

■ 3rd 黒 (半袖)  
サイズ:  
S・M・L・XL・XXL  
10,395円



■ ジュニア  
サイズ:  
130・140・150  
8,295円

\* 3月2日(日) 発売

■ 3rd 黒 (長袖)  
サイズ:  
S・M・L・XL・XXL  
13,545円



\* 3月2日(日) 発売

## ユニフォーム+1 (プラスワン) キャンペーン

\*レッドボルテージ、浦和レッズオンラインショップ、レッズフェスタ売店、ホームゲームスタジアムファンショップで2014ユニフォームをご購入いただいた方に、2014ユニフォームがデザインされたオリジナルビッグタオルをプレゼントします。ユニフォーム1着のお買い上げにつき、1枚差し上げます。なおビッグタオルの数量は十分に用意しておりますが、無くなり次第キャンペーンは終了となります。



## 三菱UFJニコス「浦和レッズ VIASOカード」が誕生

\*浦和レッズパートナーの三菱UFJニコスと浦和レッズでは、提携クレジットカード「浦和レッズ VIASOカード」を発行しました。

こちらのカードは年会費が無料になっており、また利用金額に応じて貯まるポイントが年に一度、特別な手続きを要することなくキャッシュバックされます。

加えて、ショッピング利用金額の一部(0.255%)がチーム強化費として還元される仕組みとなっており、この還元率を合言葉「レッズGO!GO!」とし、マッチデー以外の時間も含めて浦和レッズとファン・サポーターの皆さんとがより一層強い絆で繋がっていくことの一助となるという目的のもとに誕生しました。

日常生活の何気ないワンシーンが、浦和レッズの強化に繋がっていきます。詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.urawa-reds.co.jp/business/viaso.html> (PCのみ)



★浦和レッズでは、「REDS TICKET (レッズチケット)」というチケット販売専用サイトをご用意。ファン・サポーターのみなさんにインターネット(PC/携帯)を通じて、レッズのホームゲームなどのチケットを直接販売しています。「REDS TICKET」ならではのさまざまなサービスが用意されています。ぜひ、ご活用ください。→右ページ欄外へ

**オフィシャルグッズ新商品**

**▶ トレーニングトップ (半袖)**  
 S・M・L・XL・XXL  
 7,245円  
 \* 2月15日(土)発売



**▶ トレーニングサイドライン ウェブジャケット**  
 S・M・L・XL・XXL  
 15,750円  
 \* 2月15日(土)発売



**▶ エンブレムポロ (黒/白)**  
 S・M・L・XL・XXL  
 7,245円  
 \* 2月15日(土)発売




▲黒もあります

エンブレム部分



**▶ N98トラックジャケット (黒/ダークグレー)**  
 S・M・L・XL・XXL  
 9,765円  
 \* 2月15日(土)発売

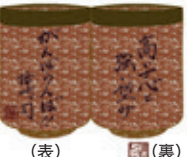
黒 (背側)  
 ダークグレー (表側)



**▶ サイドライン ウェブ ウォームアップ (チーム移動着 上下)**  
 S・M・L・XL・XXL  
 18,900円  
 \* 2月15日(土)発売



**▶ 梅崎全力湯のみ (梅崎司プロデュース)**  
 1,050円/1個  
 \* 2月23日(日)発売  
 (梅崎27歳の誕生日です)



(表) (裏)

\* 価格はすべて税込み。レッドボルテージ、オンラインショップでどうぞ。なお発売日にご注意ください。

**浦和レッズ・オフィシャル・イヤーズブック2013 発売中**

- 2013年のレッズの戦いのすべて
- ノブヒサへのオマージュ
- ミシャ監督・選手手記・選手の活躍
- 全試合記録と戦評・出場記録



歴史を刻み続ける  
 唯一の  
 クラブオフィシャル

A4版 96頁上製本  
 (ハードカバー)  
 3,000円

**浦和レッズ・オフィシャル・イヤーズDVD2013 発売中**

- 山田暢久特製ステッカー付き



4,200円

**浦和レッズ・オフィシャル・ハンドブック2014 3月8日発売**

- 2014シーズン選手名鑑
- 監督インタビュー
- クラブからのお知らせ
- レッズファミリーの紹介



ポケットサイズ(108mm×226mm) 160頁、オールカラー  
 1,000円

**オフィシャルサイト サイトメンバーズ**

\* 唯一のオフィシャル携帯サイト「URAWA REDS Mobile」は、最新ニュース、練習・試合レポート、選手コメントなどクラブが

発信するさまざまな情報をいつでもどこでもお手元で気軽にチェックできるサイトとして、多くのみなさんにお楽しみいただいています。パソコン上で見るオフィシャルサイト以上に、細かい情報や待ち受け画面などオフィシャルならではのコンテンツを連日更新!

さらに試合の際にはリアルタイムで経過を速報、得点や結果をすぐにメールでお知らせするメルマガ配信サービスも取り組んでいます。また、昨年10月からはキャリア決済サービスもスタートし、利便性も向上しています。

今シーズンも浦和レッズをより身近に感じられるオフィシャル携帯サイトで、ぜひ、ホットな浦和レッズ情報をお受け取りください。

有料315円/月

**山田暢久氏が引退記者会見**

\* 昨季まで浦和レッズに在籍した山田暢久選手がこのほど現役引退を決定し、1月29日(水)、さいたま市内で記者会見を行いました。なお山田氏は今年から浦和レッズのクラブスタッフを務めます。「今後はチームの強化部に籍を置かせてもらい仕事をしていきますが、僕が出せるだけの力を注いで、チームのために貢献していきたいと思います」(山田氏)

また2011年までレッズに在籍した堀之内聖氏もこのほど現役を引退。2月からクラブスタッフの一員となっています。



記者会見で引退を発表する山田氏(1.29)

カメラの性能が良くなることも、記録メディアがなければただの重い塊だ。

記録メディアは、入れておけば試合が終わるまで交換する必要はないし、万一残りの容量が心配になったら、試合の合間に不要なコマを消去して空き容量を増やすこともできる。

しかし、ひと昔前、カメラは記録メディアでなくフィルムを使っていた。36枚のフィルムは、連写などしていると、あっという間に無くなる。大事な場面がフィルム切れになるのを防ぐために、残り少なくなった時点で試合の流れを見て、新品と交換しておくから、36枚全部撮ることの方が稀だった。もったいないとは言っていない。だから、かなりの本数のフィルムを用意しておいた。

フィルムカメラを使っていたころは、試合中にカメラがたまたま重い塊と化さないように、十分な準備をする必要があった。

拳銃も弾丸がなければ、ただの重い塊だ。大事な場面で弾切れにならないように気をつけなければならぬし、戦いの前には十分な弾丸を用意しておかなければならない。

もちろん本物の拳銃に弾を装填したことはない。しかし、そこは男の子(?)だ。御多分に漏れず、武器系には子どものこ

## 弾込め

せいお じゅん  
◎ 清尾 淳

ろから興味があったし、大人になってもそれは続いている。

カメラにとつてのフィルムは拳銃にとつての弾丸と同じ。だからフィルムをカメラに入れるとき、僕はまるで拳銃に弾を込めるかのような感覚になったものだ。戦いの準備として。

ビジュアルサポートの中心になつていくサポーターグループが、昨季の試合で使用し、濡れたままになつていくアイテム、ビニールシートや小旗などを開幕前に整理するという。人海戦術でやるしかないのです。大勢の協力を呼び掛けている。肝心なときに使えるように、というのには戦いに備えて武器の手入れをするのと同じだろう。

1月の中旬から2月にかけての新年会なり決起集会を行うグループも多いはず。これも、さながら戦いの準備と言える。

例えば、クラブがこの時期に代表を交代するというのも、戦いの準備を十分にするためだ。

クラブの社名変更、ジュニアチームの創設、「浦和駒場スタジアム」のネーミングライツなど、派手なことよりも着実な歩みを在任中に刻んだ感のある橋本前代表だが、最後の仕事になつた、今回の代表交代に関する「慣例」の変更は、大変な置き土産で、火縄銃からスパンサー銃へ移行するほど大きな前進だと思ふ。今後のレッズにとつて一つの重要な準備ができた。

もちろんチームも戦いの準備に余念がない。

まずは長いシーズン中に戦力がダウンしないよう、選手を補強した。次に宮崎での一次キャンプで、これまでになく身体をいじめ、鍛えた。選手たちもそれを見越してシーズンオフを過ごしたはずだ。

そして2月6日からは指宿での二次キャンプでチーム戦術の徹底を図る。

ある者は去年、優勝を逃がした悔しさがモチベーションになつていよう。ある者は今年こそ自分の力を存分に発揮しようとしていよう。新天地で栄冠を手にとろうと意気込んでいる者もいるだろう。

すべてはタイトルのために。開幕まで1か月を切った。準備はどうか。さあ自分たちの武器に弾を込めよう。

## MDP 定期購読・バックナンバー通信販売のご案内

### ■定期購読のご案内

MDP定期購読は、遠方の方、試合当日MDPをお求めできない方、必ず手に入れたい方におすすめのサービスです。

### ●申込み要領

郵便振替用紙の通信欄に「○号から○号まで定期購読希望」と書き380円(本体+送料)1冊×回数をお振替にてお申し込みください。

※MDPは浦和レッズ主催のホームゲームの当日に発送いたします。

※試合当日にお手元には届きませんのでご注意ください。

### ■バックナンバーのご案内

MDPバックナンバーを通信販売にお求めの方は、(株)リョーインまでお問い合わせの上、郵便振替にてお申し込みください。

※バックナンバーは完売の号も多くあり、定価も変わっておりますので、必ずご確認をお願いいたします。

### ■郵便振替申込要領

口座番号：00190-1-584938

口座名称：(株)リョーイン 浦和レッズMDP係

郵便局にある「郵便振替払込用紙」に口座番号、口座名称、金額、お客様のおところ、おなまえ、電話番号を明記し、通信欄に詳細を記入してお申し込みください。

### ■お問い合わせ先

〒108-8410 東京都港区芝 5-33-8

リョーイン 浦和レッズMDP係 ☎03-5765-2036

担当 藤田(受付時間：平日 9:00~17:30)

■お申し込みいただいた個人情報、MDPに関連する送付物以外に利用することはありません。

## HAPPY BIRTHDAY 応募要領

### ●よくお読みください●

★公式戦のホームゲーム当日が誕生日のレッズサポーター、ファンの方をMDP誌上で紹介します。「お名前(ふりがな)」「住所」「電話番号」「生年月日」「性別」「新年齢」を下記へ送ってください。必ずハガキがFAXで、「誕生日の7日前必着(郵送の場合、ご注意ください)」です。複数人の方の応募はそれぞれ別にお願ひします。

締め切りを過ぎたものや、記入もれがある場合は掲載できませんのでご注意ください。ご本人以外の方が応募する場合は、必ずご本人の承諾を得て、応募者の電話番号を書き添えてください。なお場内アナウンスで紹介する時間は場内放送「GO REDS GO」開始後となります。

### あて先 浦和レッズMDP [HFB係]

- ハガキ：〒336-8799 日本郵便さいたま中央郵便局 私信箱92号
- FAX：048-814-3253
- eメール：使用できません

## ■ホームゲームに欠かせない MDP

★浦和レッズ・オフィシャル・マッチデー・プログラム(愛称：MDP)は、レッズが公式戦ホームゲームで販売している小冊子です。Jリーグで最も歴史のあるクラブ公式プログラムで、昨シーズンまでに通算442号を発行しています。

ミシャ監督のメッセージや、勝利に向けた選手への意欲を始め、今日の見どころ、ファン・サポーターの意見など、試合をより熱く、面白く見られる記事が詰まっています。浦和レッズをより深く知ることができる読み物や、浦和レッズレディースほかレッズファミリーの情報も掲載。オリジナルTシャツが当たるクイズも好評です。

B5判32~48ページ。300円。スタジアム内売店でお求めください(レッドホルダーズ、レッズゲートでも販売しています)。

## MDPへの投稿、各種応募のあて先

浦和レッズ「MDP」係【郵便】〒336-8799 日本郵便さいたま中央郵便局私信箱92号  
【FAX】048-814-3253 【eメール】matchday@urawa-reds.co.jp

- ★試合の感想やチーム、クラブへの意見、質問、または応援やサポーターに関することなど何でもお寄せください。
- ★MDPに掲載する際は趣旨を変えない程度に書き換えることがあります。
- ★投稿には必ず住所、氏名、年齢、電話番号をお書きください。
- ★原則として本名での掲載になります。
- ★プレゼントやクイズの応募はがきに書かれたものも投稿として扱っていただきますので、ご了承ください。
- ★Twitterでは一般投稿を受け付けていません。

★編集後記。拳銃だの弾丸だの「SPORTS for PEACE」の精神から外れるような単語が並んでしまった。むろんここで言う「戦い」は精神的なもので、応援の準備は地味だが、それが実ったときの喜びは何物にも代え難い。上記の「ビジュアルアイテムの整理」は2月9日(日)と16日(日)10時から13時まで埼玉北門付近で行うとのこと。詳細は090-4450-6373 (tasukubaby@ezweb.ne.jp) 早川さんへ。(清尾)

# 2014 URAWA RED DIAMONDS

## 【TOP TEAM】

### ● COACHING STAFF

監督	ミハイロ・ペトロヴィッチ (56)
コーチ	堀 孝史 (46)
コーチ	天野賢一 (38)
コーチ	杉浦大輔 (39)
GK コーチ	土田尚史 (47)
アシスタントコーチ	長嶺寛明 (33)

### ● PLAYERS

1 GK	山岸範宏 (35)
2 DF	坪井慶介 (34)
3 MF	宇賀神友弥 (25)
4 DF	那須大亮 (32)
5 DF	楨野智章 (26)
6 MF	山田直輝 (23)
7 MF	梅崎 司 (26)
8 MF	柏木陽介 (26)
9 FW	原口元気 (22)
10 MF	マルシオ リシャルデス (32)
11 MF	関口訓充 (28)
12 DF	濱田水輝 (23)
13 MF	鈴木啓太 (32)
14 MF	平川忠亮 (34)
16 MF	青木拓矢 (28)
17 DF	永田 充 (30)
18 GK	加藤順大 (29)
19 FW	阪野豊史 (23)
20 FW	李 忠成 (28)
21 GK	西川周作 (26)
22 MF	阿部勇樹 (32)
26 MF	関根貴大 (18)
29 MF	矢島慎也 (20)
30 FW	興梠慎三 (27)
46 DF	森脇良太 (27)

### ● TEAM STAFF

メディカル・ディレクター	仁賀定雄 (56)
ドクター	関 芳衛 (41)
アスレティック・トレーナー	野崎信行 (53)
トレーナー	斎藤秀人 (38)
アスレティック・トレーナー	西垣輝光 (44)
トレーナー	鈴木 仁 (34)
通訳	ロドリゴシモイス (30)
主務	水上裕文 (41)
副務	関 敏浩 (32)
副務	祖母井志門 (26)

### ● YOUTH STAFF

監督	大槻 毅 (41)
コーチ	石栗 建 (42)
コーチ	池田伸康 (43)
GK コーチ	安藤智安 (39)
アスレティック・トレーナー	藤家 薫 (44)

### ● JUNIOR YOUTH STAFF

監督	大橋浩司 (54)
コーチ	名取 篤 (52)
コーチ	渡辺隆正 (36)
コーチ	金生谷 仁 (25)
コーチ	田畑昭宏 (35)
GK コーチ	井嶋正樹 (33)
アスレティック・トレーナー	大澤 真 (31)

### ● JUNIOR STAFF

監督	土橋正樹 (41)
コーチ	内館秀樹 (40)
コーチ	工藤輝央 (34)
アドバイザー	村松 浩 (55)

## 【REDS LADIES】

### ● COACHING STAFF

監督	吉田 靖 (53)
コーチ	神戸慎太郎 (44)
コーチ	梅原美砂子 (39)
GK コーチ	長井敦史 (36)
トレーナー	金床菜美 (27)

### ● PLAYERS

1 GK	池田咲紀子 (21)
2 DF	坂本理保 (21)
3 DF	高畑志帆 (24)
4 DF	齊藤あかね (21)
5 MF	岸川奈津希 (22)
6 MF	堂園彩乃 (23)
7 MF	藤田のぞみ (21)
8 MF	猶本 光 (19)
10 FW	吉良知夏 (22)
11 FW	後藤三知 (23)
12 DF	石井咲希 (18)
13 MF	和田奈央子 (20)
14 FW	泊 志穂 (23)
15 DF	竹内 希 (20)
16 GK	田尻有美 (20)
17 DF	成合 瞳 (24)
18 MF	柴田華絵 (21)
19 DF	鈴木里奈 (20)
20 FW	加藤千佳 (19)
22 MF	栗島朱里 (19)
23 DF	千葉望愛 (22)
24 MF	中村みづき (18)
25 DF	乗松瑠華 (18)
26 FW	大滝麻未 (24)
27 DF	大戸遥可 (18)
28 MF	三谷沙也加 (18)

### ● LADIES YOUTH STAFF

監督	下山 薫 (37)
GK コーチ	*ジュニアコース兼任 清水泰治 (53)
トレーナー	*ジュニアコース兼任 萬田 雅 (23)

### ● LADIES JUNIOR YOUTH STAFF

監督	永井良明 (29)
----	-----------

\* ( ) は 2014 年 2 月 1 日現在の年齢



無 料

浦和レッドダイヤモンズ オフィシャル・マッチデー・プログラム 増刊号 2014年2月1日発行

●発行・編集 浦和レッドダイヤモンズ 〒336-8505 さいたま市緑区中野田500  
TEL 048-812-1001 FAX 048-812-1212 <http://www.urawa-reds.co.jp/>  
●編集協力 株式会社清風庵 ●デザイン 株式会社ミネルバ ●印刷 株式会社リョーイン  
●写真 加藤澄人/足立雅史/清尾淳